

2005 年度版

わくわくどきどき 多摩川学習プログラム集

7

# 多摩川の基礎知識

多摩川情報集



## わくわくどきどき 多摩川学習プログラム集

第 1 分冊

多摩川っておもしろい

利用の手引き

第 2 分冊

多摩川であそんだよ

遊び編

第 3 分冊

水の大切さを実感する

水と環境編

第 4 分冊

多摩川は生きている

生き物と環境編

第 5 分冊

地域の川 “私たちの多摩川”

歴史と文化編

第 6 分冊

多摩川と安全を考える

防災編

第 7 分冊

多摩川の基礎知識

多摩川情報集

第 8 分冊

多摩川わくわくどきどきシート

ワークシート集

# 第7分冊 多摩川の基礎知識 多摩川情報集

## 目次

1 多摩川ってどんな川	1
2 学習教材・冊子の紹介	5
3 多摩川の学習にかかわるホームページリスト	9
4 博物館・資料館等リスト	10
5 多摩川の学習素材とキーワード	13
6 川の用語集	15
あとがき	31



## 中級クイズ

【 8 】多摩川で確認されている魚種は河川水辺の国勢調査ではおよそ何種類でしょうか？

60種類      70種類      80種類

【 9 】多摩川水系にいたることが確認されている鳥は河川水辺の国勢調査ではおよそ何種類でしょうか？

50種類      150種類      250種類

【 10 】多摩川で確認されている植物は河川水辺の国勢調査ではおよそ何種類でしょうか？

250種類      500種類      1000種類

【 11 】狛江市で台風による大きな水害が起きたのはいつでしょうか？

昭和39年      昭和49年      昭和59年

【 12 】現在の多摩川の水質は、昭和30・40年代にくらべてどうなったでしょうか？

変わらない      多少良くなった      かなり良くなった

【 13 】河口から約53.5キロ離れている羽村取水堰の標高はどのくらいでしょうか？

60m      120m      240m

【 14 】玉川上水と四ヶ領用水（二ヶ領用水と六郷用水）はどちらが先につくられたでしょうか？

玉川上水が先      四ヶ領用水が先      同時に着工して同時に出来た

【 15 】多摩川生まれの有名な梨の名前はなんのでしょうか？

長十郎      豊水      幸水

【 16 】次のうち多摩川で見られる帰化植物はどれでしょうか？

カワラノギク      ニセアカシア      ギシギシ

【 17 】多摩川に多くある堰は何のためにつくられたのでしょうか？

洪水を安全に流すため      水をきれいにするため      水をためて取水するため

## 上級クイズ

【 18 】多摩川河川環境管理計画では河川敷の利用と保全のゾーニングをしています。このゾーニングで 空間（マルハチ空間）と呼ばれる空間はどんな空間でしょうか？

運動・健康管理空間      自然レクリエーション空間      生態系保持空間

【 19 】現在、魚が魚道を通して河口から行き来できるのはどこまででしょうか？

二ヶ領宿河原堰      日野用水堰      小河内ダム

【 20 】次の三川分水嶺（点）のうち実際にあるのはどれでしょうか？

多摩川と鶴見川と富士川      多摩川と荒川と千曲川      多摩川と荒川と富士川

【 21 】堤防の草は定期的に刈り取っています。なぜでしょうか？

堤防が壊れたりしていないか観察するため

草が生えると堤防が弱くなるため

土手すべりなどの利用をしやすくするため

【 22 】スーパー堤防とはどんな堤防でしょうか？

堤防の高さが特別高いため洪水を防ぐことができる堤防

堤防が鉄筋コンクリートで出来ているため、洪水によって破壊されない堤防

堤防の幅が特別広いため洪水によって破られない堤防

答えは次ページに載せています。

## 初級クイズの答え

- 【 1 】多摩川の源流笠取山（山梨県塩山市）の標高は1953mです。
- 【 2 】多摩川の長さは138kmです。この延長は全国の一級河川109水系の中で25番目の長さです。  
このうち直轄管理区間は河口から青梅市の万年橋まで64.3kmです。
- 【 3 】多摩川の流域面積は1240平方キロメートルです。この面積は全国の一級河川109水系の中で54番目の長さです。
- 【 4 】多摩川流域にある市区町村は全部で30あります。内訳は東京都が26市区町村、神奈川県が1市、山梨県が3市村です。  
なお、多摩川本川が流れている市区町村は20、多摩川本川の直轄管理区間が流れている市区町村が17あります。
- 【 5 】多摩川の流域内人口はおよそ425万人（平成7年調べ）です。
- 【 6 】多摩川を訪れる人はおよそ2000万人（平成9年調べ）です。
- 【 7 】小河内ダムは昭和32年に完成しましたが、つくられた主な理由は、東京の飲み水を安定して取水するためです。  
小河内ダム建設にも係わらず多摩川の異常湧水が頻発し、昭和39年の東京オリンピックを前に東京の飲み水不足が国政上の問題となり、東京の水は利根川水系に依存する割合を高めていきました。

## 中級クイズの答え

- 【 8 】多摩川で確認されている魚種はおよそ80種類です。  
河川水辺の国勢調査では77種類の魚が確認されています。
- 【 9 】多摩川水系にいたことが確認されている鳥はおよそ150種類です。  
河川水辺の国勢調査では126種の鳥が確認されています。
- 【 10 】多摩川で確認されている植物はおよそ1000種類です。  
河川水辺の国勢調査では1195種の植物が確認されています。
- 【 11 】狛江市で台風による大きな水害が起きたのは昭和49年です。  
このときの水害は堰の迂回流により民家19戸が流出し、その様子が時々刻々とテレビ中継され大きな社会的関心を呼んだ。この水害により訴訟が起こされ、その結果は新しい判例として今後参考となるものを残した。

【12】現在の多摩川の水質は、昭和30・40年代にくらべて「かなり良くなった」と言えます。

昭和30年代の前半までは多摩川の各地に水泳場がありにぎわっていました。その後、経済の高度成長の中で極端な水質悪化が進み、二子におけるBOD値は昭和45年には27PPMにまでなりました。しかし下水道の整備が急ピッチで進み、また礫間浄化施設の建設などの施策も加わり、多摩川の水質は改善し、現在ではBOD値は二子付近で2PPM程度にまで下がっています。最近では二子付近で水浴する人の姿を見ることも珍しいことではなくなってきました。

【13】河口から約53.5キロ離れている羽村取水堰の標高はおよそ「120m」です。

【14】玉川上水と四ヶ領用水（二ヶ領用水と六郷用水）では四ヶ領用水が先につくられました。四ヶ領用水は左岸の六郷用水と右岸の二ヶ領用水が徳川家康の命により1599年に同時着工され、1613年に完成した。玉川上水は4代将軍家綱の命により1年半の短期間の工事により1654年に完成した。

【15】多摩川生まれの有名な梨の名前は「長十郎」です。

【16】帰化植物は「ニセアカシア」です。

【17】多摩川に多くある堰は「水をためて取水するため」につくられました。

## 上級クイズの答え

【18】多摩川河川環境管理計画のゾーニングで 空間（マルハチ空間）と呼ばれる空間は「生態系保持空間」です。

多摩川では昭和30年代から市民による自然保護運動が盛んで、貴重種の保護という従来型の運動ではなく、身近な自然を大事にするという運動が展開された。そうした運動の展開のなかで、昭和55年に多摩川河川環境管理計画が京浜工事事務所と市民の方々とのパートナーシップによって全国に先駆けて計画が策定され、このなかで「生態系保持空間」（空間）が位置づけられました。

【19】現在、魚が魚道を通して河口から行き来できるのは「日野用水堰」までです。

【20】多摩川笠取山には「多摩川と荒川と富士川」の三川分水嶺（点）があります。多摩川にはこの他に大菩薩峠に「多摩川と相模川と富士川」、多摩市南大沢付近に「多摩川と境川と鶴見川」の三川分水嶺（点）があります。

【21】堤防の定期的な草刈は「堤防が壊れたりしていないか観察するため」に行っています。年に2回から4回程度刈ります。

【22】スーパー堤防とは「堤防の幅が特別広いため洪水によって破られない堤防」です。現在多摩川の11地区に作られています。

## 2 学習教材・冊子の紹介

ここでは、多摩川の学習に役立つ学習教材・冊子を紹介します。京浜河川事務所が作成したもので、現在学校の先生が入手あるいは利用可能なものに限定しました。

### 多摩川ジュニアノート

体裁 :B5 49 ページ

内容 :子ども向け観察ノート

発行 :京浜河川事務所

入手方法 :京浜河川事務所、田園調布出張所、多摩出張所、多摩川上流出張所で入手できる

目次 :多摩川イラストマップ

多摩川上流域でハイキング

多摩川の羽村堰までサイクリング

多摩川の下流域をサイクリングしてみよう

多摩川にはいろいろな魚がすんでいる

多摩川ではいろいろな植物を観察できる

多摩川にはたくさんの鳥がすんでいる

水はめぐる 水循環を知ろう

多摩川に近くにある史跡をたずねてみよう

いい伝えから知る多摩川の民話 河童の証文

多摩川新発見のためにこれだけは注意しよう



### ひと川まち

体裁 :A4 8 ページ

内容 :季刊の子ども 一般向け情報誌

発行 :京浜河川事務所

入手方法 :京浜河川事務所に申込み無料定期購読可

バックナンバーは京浜河川事務所HPで閲覧できる

目次 (2005 春号の例) :

川はくらしとつながっているシリーズ 鶴見川

等々力渓谷を行く

第4回みんなのガッコ何してる! ?

京浜河川事務所からのお知らせ

おでかけ情報 in spring

おたよりコーナー 他



## 水辺を歩こう多摩川 ガイドブック 2004、ハンドブック 2004

体裁 :A6 変形、2 分冊 (ガイドブック 127 p、ハンドブック 224 p)

内容 :一般向け多摩川基礎データ集

発行 :京浜河川事務所

入手方法 :京浜河川事務所に入手可能かどうか問い合わせる

ガイドブック目次 水辺を歩こう 多摩川 2004 ガイドブック

エリアをまたいだウォーキングコース

ウォーキングひとくちガイド

多摩川イベントカレンダー

ハンドブック目次 地形と気象

社会経済

歴史・文化遺産

多摩川の治水

多摩川の利水

多摩川的环境

維持管理

多摩川水系河川整備計画



## 多摩川と環境学習 多摩川環境学習事例集

体裁 :A4 232 ページ

内容 :教員向け環境学習事例集

発行 :京浜河川事務所

入手方法 :既に多摩川流域の全ての

小・中・高等学校に配布してあります

同時に多摩川流域リバーミュージアム

HP で公開しています。

目次 :多摩川環境学習事例集

小学校 30 校の実践事例

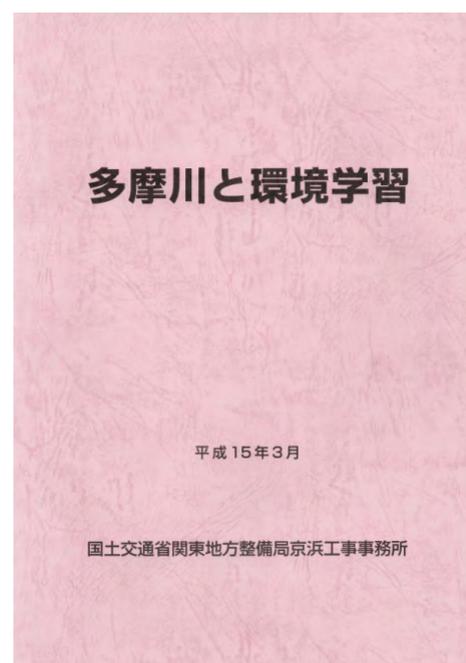
中学校 17 校の実践事例

高等学校 10 校の実践事例

アンケート結果

取材からまとめた学習の姿

座談会 等



## 多摩川環境学習マップ

体裁 :A3 367 ページ

内容 教員向け環境学習基礎資料

発行 京浜河川事務所

入手方法 京浜河川事務所河川環境課に問合せ下さい

多摩川流域リバーミュージアムHP で閲覧

ダウンロード利用できます。

目次 第1部 多摩川環境学習マップ流域編

多摩川流域学習マップ

多摩川流域学習主題マップ

環境体験ゾーン別学習資源マップ

多摩川流域学習活動マップ

第2部 多摩川環境学習マップ直轄管理区間編

多摩川学習資源マップ

多摩川学習活動現況・モデル学習マップ

白地図

子ども用白地図

古地図と最新情報の比較マップ

## 多摩川環境学習マップ総集編

平成17年3月

国土交通省 関東地方整備局 京浜河川事務所



## 多摩川の環境と川づくり

体裁 :A4 33 ページ

内容 一般向け環境啓発パンフレット

発行 京浜河川事務所

入手方法 京浜河川事務所入手可能

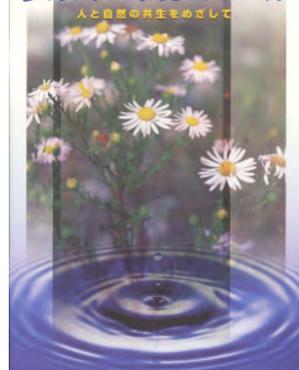
目次 多摩川と流域

多摩川河川環境管理計画

自然環境と保全・回復するために

人と多摩川の良好な関係を創出するために

## 多摩川の環境と川づくり



## あばれ多摩川発見紀行

体裁 :A4 31 ページ

内容 一般向け治水啓発パンフレット

発行 京浜河川事務所

入手方法 京浜河川事務所、各出張所で入手可能

京浜河川事務所 HP で閲覧可能

目次 下流紀行、中流紀行、上流紀行

21世紀の多摩川



## 水質用語集

体裁 :A4 122 ページ

内容 :一般向け水質用語集

発行 :京浜河川事務所

目次 水質調査項目

水質に関する用語

水質に関する法律 各種基準



## 多摩川水系河川整備計画読本

体裁 :A4 197 ページ

内容 :一般向けの多摩川水系河川整備計画解説書

発行 :河川環境管理財団

入手方法 :有料 (¥1800)

目次 第1章 多摩川の特徴

第2章 多摩川水系河川整備計画策定までの流れ

第3章 多摩川水系河川整備計画の解説

第4章 多摩川水系河川整備計画・原文

第5章 多摩川水系河川整備基本方針・原文

第6章 河川用語解説集



## 新多摩川誌

体裁 :A4 8分冊 3000 ページ

内容 :一般向け多摩川情報百科

発行 :河川環境管理財団

入手方法 :既に多摩川流域の小・中・高校に

1セットずつ配布済み

一般は有料 (¥47250)

目次 第1編 序説

第2編 自然

第3編 治水

第4編 利水

第5編 川の空間利用

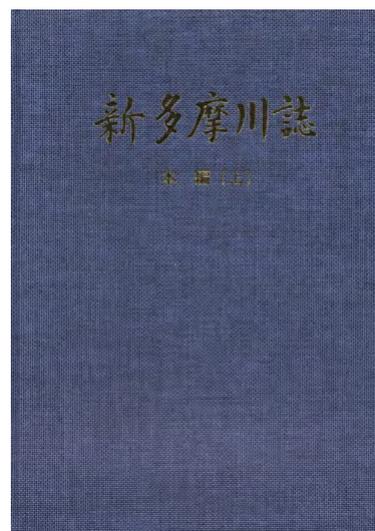
第6編 社会生活史

第7編 民俗

第8編 流域の経済と都市化

第9編 河川環境

第10編 21世紀の課題



# 3 多摩川の学習にかかわるホームページリスト

## 多摩川に関連する団体のHP

No.	サイト名	URL
1	多摩川流域リバーミュージアム	<a href="http://www.tamariver.net/index.htm">http://www.tamariver.net/index.htm</a>
2	多摩川センター	<a href="http://www2.ttcn.ne.jp/tamagawa/">http://www2.ttcn.ne.jp/tamagawa/</a>
3	ラブリバー多摩川を愛する会	<a href="http://loveriver.ne.jp/tamagawa/">http://loveriver.ne.jp/tamagawa/</a>
4	多摩川源流研究所	<a href="http://www.tamagawagenryu.net/">http://www.tamagawagenryu.net/</a>
5	多摩川の自然を守る会	<a href="http://homepage2.nifty.com/tamagawa/index.html">http://homepage2.nifty.com/tamagawa/index.html</a>
6	ニヶ領せせらぎ館	<a href="http://www.seseragikan.com/">http://www.seseragikan.com/</a>
7	とうきゅう環境浄化財団	<a href="http://www.246.ne.jp/tokyuev/">http://www.246.ne.jp/tokyuev/</a>

## 多摩川での活動が紹介されている学校のHP

No.	サイト名	URL
1	川崎市立上丸子小学校	<a href="http://www.keins.city.kawasaki.jp/2/ke204601/index.htm">http://www.keins.city.kawasaki.jp/2/ke204601/index.htm</a>
2	川崎市立中野島小学校	<a href="http://users.hoops.ne.jp/sugimaro/">http://users.hoops.ne.jp/sugimaro/</a>
3	川崎市立玉川小学校	<a href="http://www.keins.city.kawasaki.jp/2/ke203801/index.htm">http://www.keins.city.kawasaki.jp/2/ke203801/index.htm</a>
4	カリタス小学校	<a href="http://www.caritas.or.jp/es01.html">http://www.caritas.or.jp/es01.html</a>
5	大田区立志茂田小学校	<a href="http://homepage3.nifty.com/shimoda-e/">http://homepage3.nifty.com/shimoda-e/</a>
6	大田区立矢口西小学校	<a href="http://academic2.plala.or.jp/ygtne/">http://academic2.plala.or.jp/ygtne/</a>
7	世田谷区立二子玉川小学校	<a href="http://www.setagaya.ed.jp/fuga/">http://www.setagaya.ed.jp/fuga/</a>
8	世田谷区立桜町小学校	<a href="http://www.setagaya.ed.jp/sachi/index.htm">http://www.setagaya.ed.jp/sachi/index.htm</a>
9	世田谷区立玉堤小学校	<a href="http://www.setagaya.ed.jp/tami/index.htm">http://www.setagaya.ed.jp/tami/index.htm</a>
10	調布市立布田小学校	<a href="http://www.col.ne.jp/fuda/">http://www.col.ne.jp/fuda/</a>
11	府中市立南白糸台小学校	<a href="http://www3.ocn.ne.jp/nanpaku/">http://www3.ocn.ne.jp/nanpaku/</a>
12	日野市立仲田小学校	<a href="http://www.city.hino.tokyo.jp/school/nakadae/">http://www.city.hino.tokyo.jp/school/nakadae/</a>
13	羽村市立栄小学校	<a href="http://academic1.plala.or.jp/hmr-skej/index.htm">http://academic1.plala.or.jp/hmr-skej/index.htm</a>
14	三鷹市立井口小学校	<a href="http://www.education.ne.jp/mitaka/iguchi-es/index.htm">http://www.education.ne.jp/mitaka/iguchi-es/index.htm</a>
15	奥多摩町立小河内中学校	<a href="http://academic2.plala.or.jp/ogouchi/">http://academic2.plala.or.jp/ogouchi/</a>

## 多摩川に関連する行政機関

No.	サイト名	URL
1	京浜河川事務所	<a href="http://www.keihin.ktr.mlit.go.jp/index_top.html">http://www.keihin.ktr.mlit.go.jp/index_top.html</a>
2	東京都	<a href="http://www.metro.tokyo.jp/">http://www.metro.tokyo.jp/</a>
3	東京都水道局	<a href="http://www.waterworks.metro.tokyo.jp/">http://www.waterworks.metro.tokyo.jp/</a>
4	東京都下水道局	<a href="http://www.gesui.metro.tokyo.jp/">http://www.gesui.metro.tokyo.jp/</a>
5	川崎市	<a href="http://www.city.kawasaki.jp/">http://www.city.kawasaki.jp/</a>
6	塩山市	<a href="http://enzan.net/index.htm">http://enzan.net/index.htm</a>

No.	サイト名	URL
7	小菅村	<a href="http://www.vill.kosuge.yamanashi.jp/">http://www.vill.kosuge.yamanashi.jp/</a>
8	丹波山村	<a href="http://www.vill.tabayama.yamanashi.jp/">http://www.vill.tabayama.yamanashi.jp/</a>

#### 総合的な学習に関する一般的な HP

No.	サイト名	URL
1	河川局 Kids Web	<a href="http://www.mlit.go.jp/river/kidsweb/index.html">http://www.mlit.go.jp/river/kidsweb/index.html</a>
2	じゃぶじゃぶ川ねっと!	<a href="http://www.mlit.go.jp/river/kids/index.html">http://www.mlit.go.jp/river/kids/index.html</a>
3	川で学ぼう	<a href="http://www.kawamanabi.jp/">http://www.kawamanabi.jp/</a>
4	川の防災情報	<a href="http://www.river.go.jp/index.html">http://www.river.go.jp/index.html</a>
5	カワナビ	<a href="http://www.kawanavi.net/">http://www.kawanavi.net/</a>
6	初めての川遊び	<a href="http://www.kasen.or.jp/kawaasobi/flame.htm">http://www.kasen.or.jp/kawaasobi/flame.htm</a>
7	水辺の安全ハンドブック	<a href="http://www.kasen.or.jp/public_html/index.html">http://www.kasen.or.jp/public_html/index.html</a>
8	子どもの水辺サポートセンター	<a href="http://www.mizube-support-center.org/">http://www.mizube-support-center.org/</a>
9	かっぱの学校	<a href="http://kappa.mcp.co.jp/">http://kappa.mcp.co.jp/</a>
10	川であそぼう	<a href="http://www.kawaasobi.jp/">http://www.kawaasobi.jp/</a>
11	RAC	<a href="http://www.rac.gr.jp/">http://www.rac.gr.jp/</a>
12	CONE	<a href="http://www.cone.ne.jp/">http://www.cone.ne.jp/</a>
13	(社)日本ネイチャーゲーム協会	<a href="http://www.naturegame.or.jp/top/">http://www.naturegame.or.jp/top/</a>
14	(財)日本野鳥の会	<a href="http://www.wbsj.org/nonshocked.html">http://www.wbsj.org/nonshocked.html</a>

#### 多摩川に関わりのある博物館 資料館 HP

No.	サイト名	URL
1	川崎市市民ミュージアム	<a href="http://home.catv.ne.jp/hh/kcm/">http://home.catv.ne.jp/hh/kcm/</a>
2	パルテノン多摩歴史ミュージアム	<a href="http://www.parthenon.or.jp/museum/index.htm">http://www.parthenon.or.jp/museum/index.htm</a>
3	府中市郷土の森博物館	<a href="http://www.fuchu-cpf.or.jp/museum/">http://www.fuchu-cpf.or.jp/museum/</a>
4	羽村市郷土博物館	<a href="http://www.city.hamura.tokyo.jp/museum/museum.html">http://www.city.hamura.tokyo.jp/museum/museum.html</a>
5	東京都高尾自然科学博物館	<a href="http://www1.biz.biglobe.ne.jp/takahaku/">http://www1.biz.biglobe.ne.jp/takahaku/</a>
6	森林総合研究所森林科学園	<a href="http://www.ffpri-tmk.affrc.go.jp/">http://www.ffpri-tmk.affrc.go.jp/</a>

## 4 博物館・資料館等リスト

No.	資料館	〒	所在地	TEL	展示内容
1	川崎市市民ミュージアム	211-0052	川崎市中原区等々力1-2	044-754-4500	歴史民俗の展示(多摩川に沿って形成された川崎の歴史)
2	川崎大山街道ふるさと館	213-0001	川崎市高津区溝口3-13-3	044-813-4705	郷土資料
3	二ヶ領せせらぎ館	214-0021	川崎市多摩区宿河原1-5-1	044-900-8386	多摩川市民活動の総合的な支援
4	川崎市立日本民家園	214-0032	川崎市多摩区枳形7-1-1	044-922-2181	歴史民俗資料

No.	サイト名	URL
7	小菅村	<a href="http://www.vill.kosuge.yamanashi.jp/">http://www.vill.kosuge.yamanashi.jp/</a>
8	丹波山村	<a href="http://www.vill.tabayama.yamanashi.jp/">http://www.vill.tabayama.yamanashi.jp/</a>

#### 総合的な学習に関する一般的な HP

No.	サイト名	URL
1	河川局 Kids Web	<a href="http://www.mlit.go.jp/river/kidsweb/index.html">http://www.mlit.go.jp/river/kidsweb/index.html</a>
2	じゃぶじゃぶ川ねっと!	<a href="http://www.mlit.go.jp/river/kids/index.html">http://www.mlit.go.jp/river/kids/index.html</a>
3	川で学ぼう	<a href="http://www.kawamanabi.jp/">http://www.kawamanabi.jp/</a>
4	川の防災情報	<a href="http://www.river.go.jp/index.html">http://www.river.go.jp/index.html</a>
5	カワナビ	<a href="http://www.kawanavi.net/">http://www.kawanavi.net/</a>
6	初めての川遊び	<a href="http://www.kasen.or.jp/kawaasobi/flame.htm">http://www.kasen.or.jp/kawaasobi/flame.htm</a>
7	水辺の安全ハンドブック	<a href="http://www.kasen.or.jp/public_html/index.html">http://www.kasen.or.jp/public_html/index.html</a>
8	子どもの水辺サポートセンター	<a href="http://www.mizube-support-center.org/">http://www.mizube-support-center.org/</a>
9	かっぱの学校	<a href="http://kappa.mcp.co.jp/">http://kappa.mcp.co.jp/</a>
10	川であそぼう	<a href="http://www.kawaasobi.jp/">http://www.kawaasobi.jp/</a>
11	RAC	<a href="http://www.rac.gr.jp/">http://www.rac.gr.jp/</a>
12	CONE	<a href="http://www.cone.ne.jp/">http://www.cone.ne.jp/</a>
13	(社)日本ネイチャーゲーム協会	<a href="http://www.naturegame.or.jp/top/">http://www.naturegame.or.jp/top/</a>
14	(財)日本野鳥の会	<a href="http://www.wbsj.org/nonshocked.html">http://www.wbsj.org/nonshocked.html</a>

#### 多摩川に関わりのある博物館 資料館 HP

No.	サイト名	URL
1	川崎市市民ミュージアム	<a href="http://home.catv.ne.jp/hh/kcm/">http://home.catv.ne.jp/hh/kcm/</a>
2	パルテノン多摩歴史ミュージアム	<a href="http://www.parthenon.or.jp/museum/index.htm">http://www.parthenon.or.jp/museum/index.htm</a>
3	府中市郷土の森博物館	<a href="http://www.fuchu-cpf.or.jp/museum/">http://www.fuchu-cpf.or.jp/museum/</a>
4	羽村市郷土博物館	<a href="http://www.city.hamura.tokyo.jp/museum/museum.html">http://www.city.hamura.tokyo.jp/museum/museum.html</a>
5	東京都高尾自然科学博物館	<a href="http://www1.biz.biglobe.ne.jp/takahaku/">http://www1.biz.biglobe.ne.jp/takahaku/</a>
6	森林総合研究所森林科学園	<a href="http://www.ffpri-tmk.affrc.go.jp/">http://www.ffpri-tmk.affrc.go.jp/</a>

## 4 博物館・資料館等リスト

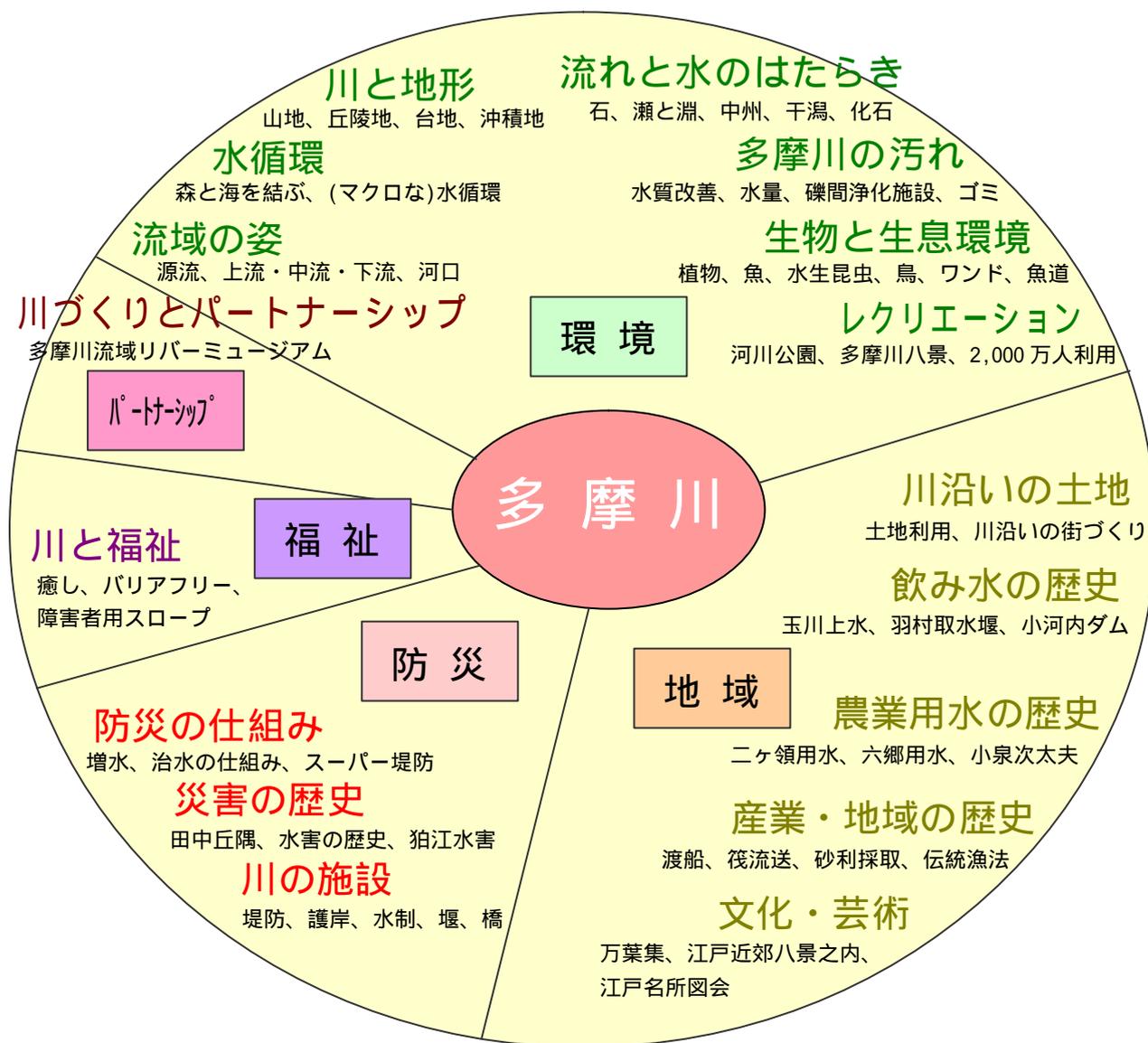
No.	資料館	〒	所在地	TEL	展示内容
1	川崎市市民ミュージアム	211-0052	川崎市中原区等々力1-2	044-754-4500	歴史民俗の展示(多摩川に沿って形成された川崎の歴史)
2	川崎大山街道ふるさと館	213-0001	川崎市高津区溝口3-13-3	044-813-4705	郷土資料
3	二ヶ領せせらぎ館	214-0021	川崎市多摩区宿河原1-5-1	044-900-8386	多摩川市民活動の総合的な支援
4	川崎市立日本民家園	214-0032	川崎市多摩区枳形7-1-1	044-922-2181	歴史民俗資料

No	資料館	〒	所在地	TEL	展示内容
5	川崎市青少年科学館	214-0032	川崎市多摩区柘形7-1-2	044-922-4731	川崎の自然多摩丘陵の四季多摩川の姿
6	よみうりランド 植物園	214-0032	川崎市多摩区柘形7-1-3	044-900-1101	植物
7	細山郷土資料館	215-0001	川崎市麻生区細山3-9-1	044-954-3933	郷土資料(民俗・考古)
8	大田区立郷土博物館	143-0025	大田区南馬込5-11-13	03-3777-1070	歴史民俗資料
9	世田谷区立郷土資料館	154-0017	世田谷区世田谷1-29-18	03-3429-4297	郷土資料
10	次太夫堀公園民家園	157-0067	世田谷区喜多見5-27-14	03-3417-5911	民家
11	調布市郷土博物館	182-0026	調布市小島町3-26-2	0424-81-7656	調布の歴史(多摩川、野川の記録) 郷土資料
12	都立神代植物公園	182-0017	調布市深大寺元町5-31-10	0424-83-2300	植物
13	東村山ふるさと歴史館	189-0021	東村山市諏訪町1-6-3	0423-96-3800	歴史資料
14	東京都薬用植物園	187-0033	小平市中島町21-1	0423-41-0344	薬用植物薬事資料
15	ふれあい下水道館	187-0022	小平市上水本町	042-326-7411	下水道(水の循環、ミニ図書館、ふれあい体験室)
16	小金井市文化財センター(浴恩館公園内)	184-0003	小金井市緑町3-2-37	0423-83-1198	郷土資料(考古・歴史・民俗)
17	民俗資料室(市誌編纂室内)	185-0011	国分寺市本多5-24-11	0423-24-7323	民俗資料
18	国分寺市文化財資料展示室	185-0023	国分寺市西元町3-10-7	0423-23-3231	郷土資料(民俗・考古)
19	国分寺市文化財保存館万葉植物園	185-0023	国分寺市西元町1-13-16	0423-25-2211	郷土資料 植物
20	府中市郷土の森	183-0026	府中市南町6-32	0423-68-7921	郷土資料[博物館](自然・考古・歴史・民俗)天文[プラネタリウム]
21	東京都埋蔵文化財調査センター	206-0033	多摩市落合1-14-2	0423-73-5296	郷土資料(考古学資料)
22	パルテノン多摩	206-0033	多摩市落合2-35	042-375-1414	多摩の自然とくらし 多摩丘陵の開発
23	町田市立博物館	194-0032	町田市本町田3562	0427-26-1531	郷土資料(民俗・考古・歴史等)
24	町田市ふるさと農具館	195-0063	町田市野津田町2288	0427-36-8380	郷土資料(農業・民俗)
25	くにたち郷土文化館	186-0011	国立市谷保6231	0425-76-0211	郷土資料(考古・歴史・民俗)
26	たましん・歴史美術館	186-0004	国立市中1-9-52	042-574-1360	歴史資料
27	立川市歴史民俗資料館	190-0013	立川市富士見町3-12-34	0425-25-0860	郷土資料
28	立川防災館	190-0015	立川市泉町1156-1	042-521-1119	防災(地震・火災、各種体験)
29	日野市ふるさと博物館	191-0016	日野市神明4-16-1	0425-83-5100	郷土資料(自然・歴史・民俗・芸術) 多摩川・浅川を中心にした展示
30	日野市立中央図書館市民資料室	191-0051	日野市豊田2-49-2	0425-81-7354	郷土資料郷土行政資料
31	百草園	191-0033	日野市百草560	042-591-3478	植物
32	八王子市郷土資料館	192-0902	八王子市上野町33	0426-22-8939	郷土資料(考古・歴史・民俗)
33	高尾ビジターセンター	193-0844	八王子市高尾町2178	0426-64-7872	高尾山の自然
34	東京都高尾自然科学博物館	193-0844	八王子市高尾町2436	0426-61-0305	自然科学資料(動物・植物・地学)

No	資料館	〒	所在地	TEL	展示内容
35	八王子市こども科学館	192-0062	八王子市大横町9-13	0426-24-3311	科学（動物・植物・地学・物理・化学）天文（プラネタリウム）
36	森林総合研究所森林科学園	193-0843	八王子市甘里町1833	0426-61-0200	植物（森林講座など）
37	武蔵村山市立歴史民俗資料館	208-0004	武蔵村山市本町5-21-1	0425-60-6620	郷土資料（地学・考古・歴史・民俗生物等）
38	福生市郷土資料室（中央図書館内）	197-0003	福生市熊川850-1	0425-30-1120	郷土資料
39	石川酒造 雑蔵史料館	197-0003	福生市熊川1	042-553-0100	石川家の歴史、酒造米の歴史、多摩川の水とのかかわり
40	瑞穂町郷土資料館	190-1211	西多摩郡瑞穂町大字石畑1962	0425-57-5614	郷土資料（考古・自然・民俗）
41	羽村市郷土博物館	205-0012	羽村市羽741	0425-58-2561	多摩川とともに、玉川上水を守る、農村から都市へ、中里介山の世界
42	自然野草園	198-0174	青梅市御岳2-275	0428-78-8838	奥多摩の野草
43	青梅市郷土博物館	198-0053	青梅市駒木町1-684	0428-23-6859	郷土の自然や歴史、産業に関する資料を展示
44	二宮考古館	197-0814	あきる野市二宮1151	0425-59-8400	郷土資料（考古）
45	あきる野市五日市郷土館	190-0164	あきる野市五日市920	0425-96-4069	郷土資料(自然・考古・民俗)
46	檜原村郷土資料館	190-0200	西多摩郡檜原村3221	0425-98-0880	郷土資料(歴史・民俗・自然・観光)
47	奥多摩郷土資料館	198-0223	西多摩郡奥多摩町原5	0428-86-2731	郷土資料（民俗）
48	奥多摩水と緑のふれあい館	198-0223	西多摩郡奥多摩町原5	0428-86-2731	奥多摩の自然、小河内ダムのしくみ、水道水源
49	山のふるさと村ビクターセンター	198-0225	西多摩郡奥多摩町川野	0428-86-2556	周辺の自然・人文・歴史を紹介、自然体験プログラムの実施
50	多摩源流・水の館	409-0211	山梨県北都留郡小菅村	0428-87-0111 (村役場)	イワナ、ヤマメなど観察コーナー、溪流釣りゾーンなど体験コーナー
51	丹波山村郷土民俗資料館	409-0300	山梨県北都留郡丹波山村1063	0428-88-0170	林業の歴史、祭りについて
52	東京都水の科学館	135-0063	江東区有明2-4-1	03-3528-2366	水のテーマパーク
53	東京水道歴史館	113-0033	文京区本郷2-7-1	03-5802-9040	江戸・東京の水道の歴史(玉川上水ものがたり)
54	水辺サポートセンター	104-0042	中央区入船1-9-12 (財)河川環境管理財団2階	03-3297-2608	水辺環境学習の支援

# 5 多摩川の学習素材とキーワード

多摩川の学習素材を体系的に整理して示しました。また、学習素材にかかわるキーワードを示しました。



多摩川を学習素材として見ると、

**4つの区分** 環境、地域、防災、福祉、パートナーシップ

**17つの分野** 流域の姿、水循環、川と地形、流れと水のはたらき、多摩川の汚れ、生物と生息環境、レクリエーション、川沿いの土地、飲み水の歴史、農業用水の歴史、産業・地域の歴史、文化・芸術、川の施設、災害の歴史、防災の仕組み、川と福祉、川づくりとパートナーシップ

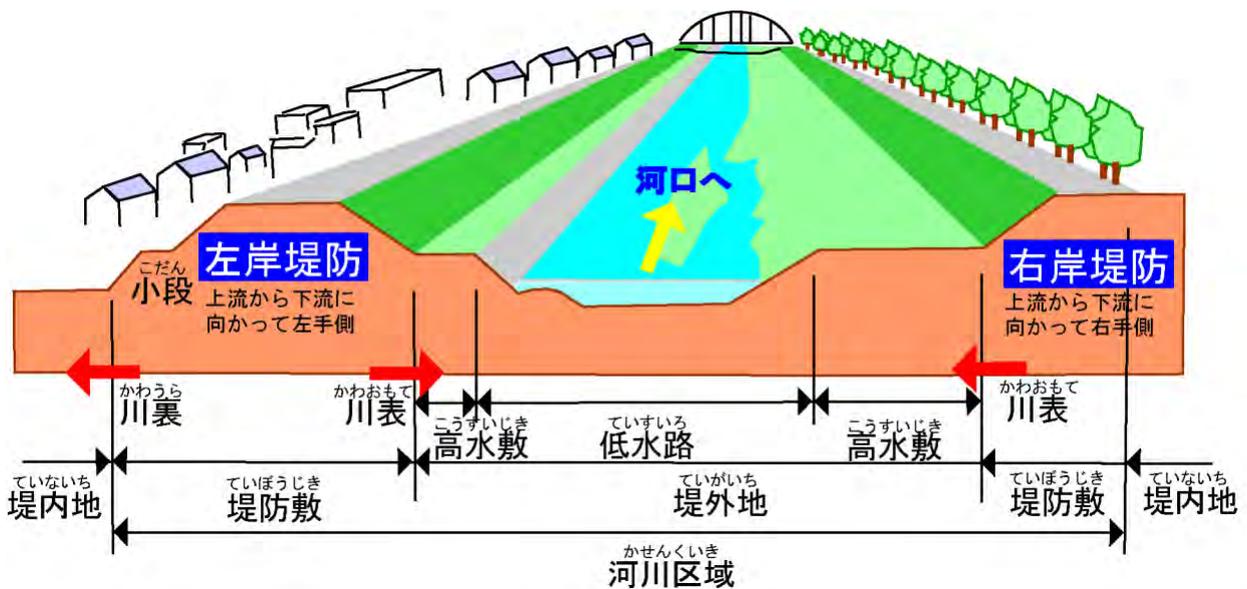
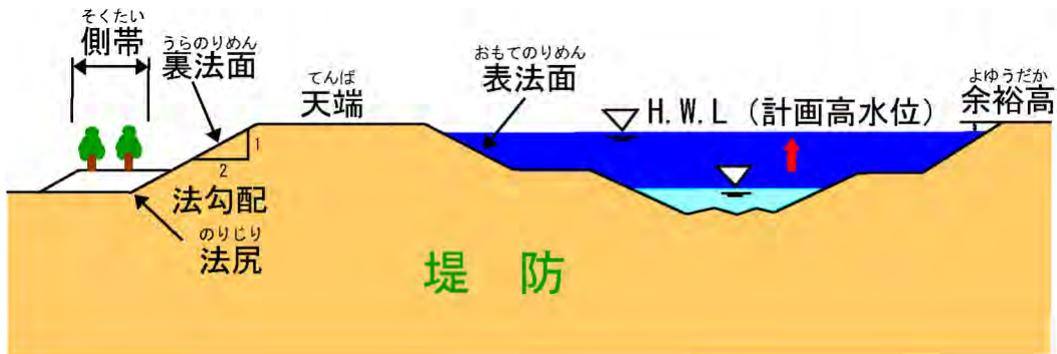
として捉えることができます。

多摩川の学習素材とキーワード

区分	学習素材	キーワード
環境	流域の姿	源流、上流・中流・下流、河口、支流（秋川、浅川、野川等）、流域の全体像を知る
	水循環	森と海を結ぶ、水循環系、用水・上水のネットワーク
	川と地形	山地、丘陵地、台地、沖積地、武蔵野台地、多摩丘陵、河岸段丘、国分寺崖線、東京湾
	流れと水のはたらき	石、瀬と淵、干潟、中州、化石、アキシマクジラ、アケボノゾウ、メタセコイア
	多摩川の汚れ	水質、水量、近年の水質改善、水質事故、河川浄化施設、下水処理場、ゴミ、水循環、濁水、水流実態解明プロジェクト、カシンベック病、内分泌攪乱化学物質（環境ホルモン）、雨水利用
	生物と生息環境	植物、魚、水生昆虫、陸上昆虫、鳥、ワンド、魚道、生態系保持空間、自然保護、河川生態学術研究、カワラノギク、外来生物、タマちゃん 水辺の楽校、多摩川水系自然保護団体協議会、カムバックサーモン運動、河川水辺の国勢調査、多摩川河川環境管理計画、多自然型川づくり、魚がのぼりやすい川づくり推進モデル事業
	レクリエーション	河川公園、グラウンド、多摩川八景、川の一里塚、年間 2000 万人の利用者、アユ釣り、徒歩鶉飼、河川敷地開放計画、多摩川河川環境管理計画、多摩川水系水面利用計画、花火大会、リバーシビックマネージャー制度、バーベキュー、いかだ、カヌー、モトクロス、国立公園
地域	川沿いの土地	土地利用、川と一体となった街づくり、地形
	飲み水の歴史	飲み水（上水）、玉川兄弟、羽村取水堰、玉川上水、尾崎行雄、水源林、小河内ダム、調布取水堰、浄水場と給水のネットワーク、コレラ、上水記、制限給水、投渡木、水利紛争
	農業用水の歴史	小泉次太夫、二ヶ領用水、六郷用水、農業用水、二ヶ領用水宿河原堰、昭和用水、日野用水、府中用水、本宿用水、大丸用水、工業用水、都市環境用水、農業用水の形態の変化と今後の姿、円筒分水、水あらい
	産業・地域の歴史	渡船、筏流送、砂利採取、伝統漁法、海苔養殖、水源林の管理 青梅林業、黒八丈、多摩川水運、梨、観梅、漂着神伝承、五日市憲法、川ノリ、ワサビ、先土器時代の遺跡、縄文時代の遺跡
	文化・芸術	万葉集、江戸近郊八景之内、江戸名所図会、渡頭の夕暮れ、武蔵野夫人、日蔭の村、大菩薩峠、音楽、ダンス
防災	川の施設	堤防、護岸、水制、堰、樋管、樋門（水門）、陸閘、高水敷、落差工、橋
	災害の歴史	田中丘隅、水害の歴史、昭和 49 年多摩川水害、民間省要、アミガサ事件、水害訴訟、工事実施基本計画
	防災の仕組み	多摩川の増水、治水の仕組み、水防拠点、スーパー堤防（高規格堤防）、水難事故、多摩川水系河川整備基本方針、多摩川水系河川整備計画、河岸管理維持法線（防護ライン）、緊急用河川敷道路、緊急用船着場、多摩川沿川整備基本構想、ハザードマップ
福祉	川と福祉	癒し体験、バリアフリー、障害者用トイレ、緩勾配スロープ、障害者や高齢者との交流、野外用車椅子
パートナーシップ	川づくりとパートナーシップ	多摩川流域リバーミュージアム、せせらぎ館、パートナーシップではじめるいい川づくり、自然保護運動、新多摩川誌、多摩川サミット、多摩川流域委員会、多摩川流域懇談会、多摩川市民フォーラム、ふれあい巡視、TAMAらいふ 21、とうきゅう環境浄化財団、たましん地域文化財団、多摩川センター、多摩川の自然を守る会、東京都、神奈川県、山梨県、市区町村、京浜河川事務所

注) 太文字は川の用語集で説明しているもの。

# 6 川の用語集



## 大切な川の用語

### 堤防

河川では、計画高水位以下の水位の流水を安全に流下させることを目的として、山に接する場合などを除き、左右岸に築造されます。構造は、ほとんどの場合、盛土によりますが、特別な事情がある場合、コンクリートや鋼矢板（鉄を板状にしたもの）などで築造されることもあります。

### 護岸

川を流れる水的作用（浸食作用など）から河岸や堤防を守るために、それらの表法面（おもてのりめん：川を流れる水があたる堤防などの斜面）に設けられる施設で、コンクリートなどで覆うような構造のものです。

## 堰

農業用水・工業用水・水道用水などの水を川からとるために、河川を横断して水位を制御する施設です。頭首工(とうしゅこう)や取水堰(しゅすいぜき)とも呼ばれます。堰を水門と混同される場合がありますが、ゲートを閉めたときに堰は堤防の役割を果しません。

## 魚道

川に堰などの人工物が横断する形で建造されると、魚やその他の水生生物の通過が困難になり、水産資源や生態系への影響が懸念されます。このため、魚やその他の水生生物の遡上や降河など自由な回遊を助けるために設ける構造物(魚道)が必要となります。従来は、水産資源から見て重要な魚種のみを対象としていましたが、近年は、多様な生態系の保全という観点から底生魚やカニなどの甲殻類など水生生物全般を対象として検討されています。魚道にはその形状や機能によりプールタイプ、ストリームタイプ等がありますが、より生態系に配慮した多自然型(近自然型)魚道がヨーロッパを中心に施工されています。

## ワンド

河川敷にできた池状の入り江のことで、本川から離れた溜まりも含めて言います。希少な魚をはじめ、種々の生物が共存する豊かな環境であることが認識され、その価値が評価されています。

## 用水路

かんがい用水を耕地へ送水するための水路のことです。通常、この用水路の水は、頭首工や取水堰などから流れてきます。

## 礫間浄化施設

河川の中に礫(れき)を積み上げるにより浮遊性の沈殿物の沈殿の機会を増大させて、礫に発生する微生物により沈殿物を吸着させ、河川に含まれる浮遊物質の有機物含有量を減少させる、河川の自浄作用を活かした河川浄化システムを備えた施設のことです。

## 河川環境管理計画

美しい川の豊かな自然をなんとか保全したい、その一方で、憩いの場やスポーツ・レクリエーションの場として河川敷を利用したい・・・河川の環境問題において必ず争点となるのは、こうした「自然環境の保全」と「人工的」な利用です。「環管計画」は、昭和55年の策定当初から、この2つの点を重要視して、多摩川の自然の保全と利用の調和を旨とし、人と川がよりよい関係を結ぶために3つの基本方針を定めています。

1つ目は「多摩川と市民との触れ合いの場を提供する」こと。2つ目は「多摩川らしさを維持していく」こと。そして3つ目「多摩川らしさを活用する」ことです。身近に自然の宝庫としてだけでなく、河川敷などの利用を通じて人々に親しまれてきた多摩川ならではの歴史や個性を尊重し、流域全体を視野にいれて提唱されました。計画の策定や改訂に際しても、つねにこの基本方針に沿って考えられています。

## あ

### 石だし

(いしだし)

石だしとは、伝統的河川工法の一つであり、石造りの水制の出しのことです。古来、砂利河川あるいは急流河川に施工された水制で、全部割石をもって築き立てるか、あるいは盛土の表面に空積み、練積みの割石張り、または玉石張りをを行うものがあります。

### 石張り

(いしばり)

石張りとは、のり面保護の目的として用いられる河川護岸工の一種です。通常のにり勾配が1対1より緩い勾配ののり面を保護するために用いられます。材料としては、玉石、割石、雑石が使われ、張り方には空石張り と練石張りがあります。

### 一枚のり

(いちまいのり)

これまでの堤防は、のり面の途中に平場を設けていました。これを小段と呼びます。一枚のりはこの小段がないものです。

### 一級河川

(いっきゅうかせん)

一級河川とは、「国土保全上又は国民経済上、特に重要な水系で制令で指定したもの(いわゆる一級水系)に係る河川で、国土交通大臣が指定したもの」をいいます(河川法第四条第一項)。多摩川水系は昭和41年に一級水系に指定され、多摩川本川・浅川を含め、現在52の本川・支川が一級河川に指定されています。

### 牛枠

(うしわく)

牛及び枠類とは、伝統的河川工法の一つであり、水制に多く使用されています。1本の合掌木にむね木を斜めに載せ、合掌木の脚をはり木で連結して四面体の枠をくつったもので、重りの蛇籠を載せて沈めます。その形が牛に似ており、杭打ちのできない玉石や砂利の河川で水制や根固めに適した工法です。

### 越水

(えっすい)

越水とは、増水した河川の水が、堤防の高さを超えてあふれ出す状態のことを言います。あふれた水が堤防の裏のりを削り、破堤を引き起こすことがあります。

### 表のり裏のり

(おもてのりうらのり)

「のり」とは堤防の法面の略で、堤防の上から見て川側ののり面を表のり、市街地側ののり面を裏のりと言います。

## か

### 河岸維持管理法線

(かがんいじかんりほうせん)

河川維持管理法線(防護ライン)は多摩川水系河川整備計画において、河道の形状、河川環境、河川敷の利用等に関する維持管理の適正化と洪水時の堤防防護の観点から、維持管理の目安となる地点を定めて結んだ法線を言います。設定した位置、堤防への影響等を総合的に勘案し、重要度の区分をしています。などから、この法線に重要度をAからDまでつけ、4段階の分類をしています。

**河岸洗掘**  
(かがんせんくつ)

河川敷と水面が接する部分ののり面を河岸と言います。河岸洗掘とは、そののり面が流水の作用によって削り崩されることを言います。

**カシンベック病**  
(カシンベックびょう)

この病気は、満州の泥炭地から出る水を飲用する人々の間に広まった、骨の一部が異常に発達する風土病です。病名は発見者のカシン及びベック氏に由来します。昭和30年代初めに多摩川流域の大田区にある小学生の手の骨に類似の病例が見出され、多摩川から取水する水との関係が疑われましたが、原因は十分解明されませんでした。

**上総層群**  
(かずさそうぐん)

上総層群とは、第三紀鮮新世～第四紀更新世古期までの一連の海成層で、砂岩、泥岩及び凝灰質砂礫等からなり、多摩地域では、厚さは1000mを越えます。多摩川以南の多摩丘陵や房総半島方面では広く地表に露出していますが、東京以東、以北では地下深くもぐって東京の基盤をなしています。

**霞堤**  
(かすみてい)

霞堤とは、急流河川において洪水時に上流側の不連続部分から水が限られた範囲の堤内地に湛水し、下流に流れる洪水流量を減少させる効果のある不連続な堤防を言います。

**河川環境カルテ**  
(かせんかんきょうカルテ)

河川環境カルテとは、河川管理に必要な河道状況や被災履歴等を整理した河川カルテに、河川水辺の国勢調査等の環境に関する情報を追加したものです。

**河川管理施設**  
(かせんかんりしせつ)

河川管理施設とは、堰、水門、堤防、護岸、床止めなどの施設のことです。河川管理者が設置及び管理します。河川の流量や水位を安定させたり、洪水による被害防止などの機能を持つ施設です。

**河川管理施設等構造令**  
(かせんかんりしせつとうこうぞうれい)

河川管理施設等構造令とは、河川法に基づき、河川管理施設または許可工作物のうち、堤防その他の主要なものの構造について河川管理上必要とされる安全確保のための基準値を定めています。

**河川管理者**  
(かせんかんりしゃ)

一級河川、二級河川及び準用河川の管理を行う者を河川管理者と言います。河川の種別に応じて国土交通大臣、都道府県知事あるいは市町村長が河川管理者となります。

**河川現況台帳**  
(かせんげんきょうだいちょう)

河川現況台帳とは、河川、河川管理施設または、河川使用の許可等を記載する河川に関する一般的台帳で、調書と図面により組成されています。調書には、水系・河川の名称・指定年月日、河川の延長、河川管理施設、使用許可等が記載され、図面は、縮尺1/2500以上の平面図に河川区域の境界、河川区域内の土地の所有者等が記載

されています。

## 河川巡視

(かせんじゅんし)

河川巡視とは、平常時に河川管理の一環として、定期的に河川の状態を把握するものです。巡視員は、河川管理員の補助者として、流水・土地の占用状況、工作物の設置の状況、船舶繫留等の状況、河川環境の状況、河川管理施設及び許可工作物の状況等を目視によって把握し、日ごとに河川巡視日誌を作成して河川管理員(出張所長)に提出しています。また、河川管理員は、河川巡視報告書を作成し、これを毎週事務所長に提出します。

## 河川浄化施設

(かせんじょうかしせつ)

河川浄化施設とは、汚濁物質の沈殿、ろ過のほか、微生物や植物の働きを単独にまたは組み合わせて河川水を浄化するための施設です。汚濁成分を直接取り除くことから河川直接浄化施設とも言います。代表的なものに礫間接触酸化施設や水生植物を利用した植生浄化施設などがあります。多摩川では、昭和58年に日本で初めて礫間接触酸化法を用いた河川浄化施設が野川にできました。

## 河川生態学術研究調査

(かせんせいいたいかくじゅつけんきゅうちょうさ)

河川生態学術研究調査は、生態学的な観点から河川を理解し、川のあるべき姿を探ることを目的とし、大学等の研究者などと共同で進められています。多摩川では、あきる野市永田地区(河口より5.2km付近)において、樹木の伐採や河道掘削などに対して、長期にわたりモニタリングを行い、河川の自然復元の手法を検討します。

## 河川整備基本方針

(かせんせいびきほんししん)

河川整備基本方針とは、従来の工事实施基本計画に代わって河川整備の計画について、河川整備の基本となるべき方針に関する事項を定めたものです。多摩川では、平成12年12月に決定しています。

## 河川水辺の国勢調査

(かせんみずべのこくせいちょうさ)

河川水辺の国勢調査とは、定期的、継続的、統一的な河川に関する基礎情報の収集整備を図ることを目的として、国土交通省が全国の主要な河川について平成2年から実施しているものです。この調査では、植生や鳥類、魚介類など生物の生息状況、河道の瀬・淵や水際部の状況及び河川の利用状況などを調べ、一般にも公表していません。

## 河道断面積

(かどうだんめんせき)

河道断面積とは、ある地点の断面において堤防と堤防の間で洪水を安全に疏下させることができる部分の面積のことです。橋脚がたくさんあるところや堰があるところは、その上下流に比べ、この面積が小さくなります。河積と呼ぶこともあります。

## 川の一里塚

(かわのいちりづか)

川の一里塚とは、堤防の裏のりの面上に盛土して、天端を広げて平場を設け、緑陰や水洗トイレ、情報案内等を設けたものを言います。平常時には、川の来訪者の憩いの場として利用され、洪水発生時等の非常時には水防資材の確保の場や水防活動拠点となるものです。

## 緩傾斜堤

(かんけいしゃてい)

緩傾斜堤とは、従来の堤防よりも緩やかな勾配ののり面で、小段を設けず一枚のりにした堤防のことです。一般的に勾配が1対3より緩やかなものを指します。堤防は河川水及び雨水の浸透に対して、安定したのり面を有していなければなりません。緩傾斜堤は、従来の堤防構造より浸透面において安全性を高めるものとなっています。

## 冠水

(かんすい)

冠水とは、出水や氾濫により普段は水のない土地が水につかることを言います。

## 幹川流路延長

(かんせんりゅうろえんちょう)

幹川流路延長とは、一つの水系の中で流量・流域面積の大きいものを幹川とし、河口から谷をさかのぼった分水界上の点までの流路の延長を言います。建設省(現・国土交通省)においては、河川の実態調査を水系全体の総合的な調査として取りまとめた河川現況調査が行われており、昭和53年度に行われた河川現況調査をもとに、流域面積及び幹川流路延長の統一が図られ、多摩川においては山梨県塩山市の笠取山までの138kmが幹川流路延長となっています。

## 感潮区間

(かんちょうくかん)

感潮区間とは、河川の河口付近で水位や流速に海の潮汐が影響を与える区間を言います。

関東地方水質汚濁対策連絡協議会(かんとうちほうすいしつおだくたいさくれんらくきょうぎかい)

関東地方の一級水系の河川、湖沼及び関係海域について、水質の実態を把握するとともに、水質汚濁の過程を究明して、より効果的な汚濁防止対策を実施するために設立された協議会のことです。メンバーは、国土交通省、関東の各都県及び水質汚濁防止法の政令指定都市、水資源開発公団等で構成されています。

## 基本高水

(きほんたかみず)

基本高水とは、河川整備基本方針の中で決定される洪水防御の計画の基本となる流量のうち、計画の規模(多摩川では、200年に1度発生する洪水を対象)の降雨が発生した場合に、洪水防御の基準となる地点(多摩川では河口から約28kmにある石原水位観測所)で発生する流量を指します。この流量を基準として、洪水の防御の計画を立案するものです。

## 旧堤

(きゅうてい)

旧堤とは、河川整備の計画上、造り替えが必要な堤防、あるいは、改築後も引き続き残されている堤防のことを言います。

## 協働

(きょうどう)

協働とは、行政と住民や市民団体、NPO、住民ボランティアなどが協力して、維持管理や社会資本整備などを進めていくことを言います。多摩川では、自治体、市民団体、河川に関する専門家などさまざまな主体をリンクアップする「リバーシビックマネージャー」制度などの活動を通して、よりよい川にしていくための方法を模索

していきます。

## 許可工作物

(きょかこうさくぶつ)

許可工作物とは、河川法の許可を受けて設置される工作物のことで、橋や堰、グラウンドのバックネットなどがあります。

## 杭打型枠・連石

(くいうちかたわく・れんせき)

杭打型枠・連石とは、伝統的河川工法の一つであり、木材または鉄筋コンクリート杭等で枠を組み、中に詰石をしたもので、主に根固めを目的として用いられます。枠工とも言います。

## 杭出し水制

(くいだしすいせい)

杭出し水制は、伝統的河川工法の一つであり、木杭、または鉄筋コンクリート杭を縦横間隔 1 ~ 2 m に 2 列以上打ち込んだもので、代表的な透過水制です。構造が簡単であり、流れの速さを遅くし、土砂の堆積効果も備えており、緩流部の水制として適しており、古くから用いられています。

## 計画高水流量

(けいかくこうすいりゅうりょう)

計画高水流量とは、河川整備基本方針の中で決定される洪水防御の基本となる流量のうち、基準地点において発生する基本高水を流域内の洪水調節施設により調節し、主要な地点で設定される流量を指します(多摩川では、日野橋観測所、田園調布(下)観測所、支川浅川の高幡橋観測所で設定されています)。

## 計画高潮位

(けいかくこうちょうい)

計画高潮位とは、想定される最大規模の台風の襲来等により、高潮が発生したときの海面の上昇と、満潮位を足したもので、高潮対策施設の計画の基準とするものです。

## 現況流下能力

(げんきょうりゅうかのうりょう)

現況流下能力とは、現在の河道の状況(堰の存在や砂の堆積状況等)における河道の断面積に対して、どれくらいの洪水を安全に流せるのかを流量であらわしたものです。これにより、今の治水の課題となっている箇所が明確になり、洪水対策検討の基礎資料となりますが、堤防の安全性については、別途検討する必要があります。

## 高規格堤防

(こうきかくていぼう)

高規格堤防は、土で造られる幅の広い堤防です。計画の規模を越えるような大洪水によって越水が生じても高い規格堤防は壊れることがなく、破堤による破滅的な被害を防ぎます。利根川、荒川、淀川など大都市を流れる河川で整備が進められています。

## 工事実施基本計画

(こうじじっしきほんけいかく)

工事実施基本計画とは、旧河川法(昭和39年)により水系を一貫して総合的な観点から管理するために水系毎に定めた計画のことです。

## 高水護岸

(こうすいごがん)

河川の堤防は、洪水流や雨、または波の作用などにより浸食されることがあります。高水護岸とは、これを防ぐために堤防の表面にコンクリートブロックや自然石を張ったり、蛇籠や布団かごなどを設

置したものを言います。高水護岸は、橋梁や堰といった構造物の付近や、洪水時の浸透・浸透作用により堤防が危険と判断される箇所などに設置されます。

### 洪水調節施設

(こうずいちょうせつしせつ)

洪水調整とは、一時的に洪水流量の一部を貯めることを言い、下流の河道に流れる流量を減少させることを言います。洪水調節施設とはそのための施設のこと、洪水調節用ダム、調整池、遊水地などが該当します。

### 洪水到達時間

(こうずいとうたつじかん)

洪水到達時間とは、雨水が地上に達してから、河川のある地点に洪水として流れ着くまでに要する時間です。

### 高速流

(こうそくりゅう)

高速流とは、洪水時に湾曲部や狭窄部、橋梁や堰などの河川横断工作物の間近などで発生する早い流れのことです。堤防に沿って高速流が生じると、堤防上の草木とともに土が洗い流され、破堤に至ることがあります。

### 護岸水制工等

(ごがんすいせいこうとう)

護岸とは、土砂で構成されている堤防や河岸を、侵食などから防護するために設置される構造物のこと言います。水制工とは、洪水の主流を川の中心に向けたり、河岸付近の水流の勢いを弱め洗堀を防ぐなど、堤防、護岸の安全性を高める施設です。

## さ

### 魚がのぼりやすい川づくり推進モデル事業

(さかながのぼりやすいかわづくりすいしんモデルじぎょう)

魚がのぼりやすい川づくり推進モデル事業とは、地域のシンボルとなっている河川・溪流について、魚が自由にのぼったり下ったりできるようにするため、堰、床固、ダム、砂防ダム等とその周辺の改良、魚道の設置、改善、魚道流量の確保等を計画的に行うものです。多摩川は全国に先駆けモデル河川に指定され、平成4年より事業が推進されており、魚類の遡上・降下環境の改善を積極的に行っています。(平成16年度で全国のモデル事業の制度は廃止されました。)

### 桜つつみ

(さくらつつみ)

桜つつみとは、洪水から堤防を守るために必要な堤防断面に加えて、堤防の市街地側に土を盛り、そこに桜を植栽するものです。これは、堤防を強化するとともに、積極的に良好な水辺空間の形成を図るものです。

### GIS

(ジーアイエス)

GISとは、地理情報システム( Geographic Information System )の略称で、地理的位置に関する情報を持つさまざまな台帳・統計データ等をデジタル化された地図の上に結びつけ、統合的に処理・管理・分析するコンピュータ情報処理体系のことです。河川の計画や管理等、幅広く利用されています。本計画の 附図もこ

のシステムで作られています。

## 自助互助システム

(じじょごじょシステム)

自助互助システムとは、災害時に自分で行動できるよう常日頃から知り得る情報の入手を図り、自分の身を守ることを心がけるとともに、地域における避難誘導や防災活動等、お互いに協力して助け合う組織の事です。

## 支川背水区間

(しかわはいすいくかん)

本川が洪水の場合、支川と本川の合流点に水門など逆流を防止する施設がないところで、本川の洪水が支川に影響することがあります。この影響の範囲を支川背水区間と言います。このようなケースでは、支川の堤防は本川の堤防並の充分安全な構造とする必要があります。

## 樹林帯

(じゅりんたい)

樹林帯とは、樹木が抵抗となって流勢を弱め、堤防の崩壊を防ぐ働きをする一帯のことを言います。堤防沿いの樹林帯は、氾濫流による破堤部の拡大防止等のために設置するものです。

## 情報管渠

(じょうほうかんきょ)

情報管渠とは、河川堤防内に3～4条の管路を埋設し、その管路の中に光ファイバーケーブルが敷設された管路のことを言います。

## 情報コンセント

(じょうほうコンセント)

情報コンセントとは、河川沿いに敷設した光ファイバーケーブルに沿って、映像・音声・データの送受信を可能とする設備を言います。情報コンセントは、平常時・災害時等における河川管理の情報の受発信に活用されます。

## 浸透 侵食

(しんとう・しんしょく)

浸透については、河川の水位が高くなると川側から堤防内に向かって浸透流という水の流れが発生します。この浸透流により、堤体の土砂が堤防断面から湧出すると、その箇所が泥状となって土砂が流れ危険な状態になります。侵食とは、洪水流れにより土砂が洗い流されることを言います。

## 水質事故

(すいしつじこ)

水質事故とは、河川への廃棄物の不法投棄、工場等における危機等の破損や人為的な誤操作に起因する油類や科学物質の流出による事故のことを指します。

## 水質自動監視装置

(すいしつじどうかんしそうち)

水質自動監視装置は、河川水を自動的に採水し、水質測定を行い、その結果を事務所のホストコンピューターに送信する装置です。水質測定項目は水温、pH、電気伝導度、濁度、溶存酸素、アンモニア、シアン、CODなどです。

## 推奨区間 候補区間

(すいしょうかん・こうほくかん)

多摩川では河口部から日野橋までの区間の両岸を高規格堤防整備対象区間としています。この内、洪水氾濫区域の広がる多摩川下流部を推奨区間として定め、高規格堤防整備とまちづくりの一体的整備について、まちづくりの構想の提案や検討を進め、整備に向けての

ん)  
機運を高めしていく区間としています。多摩川下流部の推奨区間より上流を候補区間として定め、地域におけるまちづくりの機運や諸動向を一体的に検討を行う区間としています。

**水衝部**  
(すいしょうぶ)  
水衝部とは、洪水時において、上下流に比較して流れが堤防または河岸に強く当たる箇所を言い、河道の湾曲部などに多く見られます。

**水防拠点**  
(すいぼうきょてん)  
水防拠点とは、河川堤防沿いに洪水時にも冠水しない高さに盛土され、緊急復旧活動、資機材備蓄、水防倉庫等のためのスペースを確保し、ヘリポートや車両交換場所等を整備した場所のことです。

**水流実態解明プロジェクト**  
(すいりゅうじったいかいめいプロジェクト)  
多摩川の水は飲料水をはじめとして、工業用水、農業用水、発電用水にと、さまざまに使用されています。また、家庭から出た下水道の水が処理されて多摩川に戻ってきたり、地下への浸透量もたくさんあります。水流実態解明プロジェクトとは、こうした多摩川の水の使い方や構成をくわしく調べ、解明し、環境対策、治水対策とのバランスをとりながら、多摩川の水に求められている要望を少しでも実現させていこうとしていくものです。

**聖牛**  
(せいぎゅう)  
聖牛とは、日本の伝統的な牛柵水制の一種で牛柵水制の強度をさらに高めるために全面や側面に添え木が加えられたものです。江戸中期以降に急流河川で多く用いられました。

**節水型社会**  
(せっすいがたしゃかい)  
節水型社会とは、節水意識の啓発、節水型家庭用品の普及、水道の漏水対策、工業用水の回収率の向上等を推進し、限りある水資源を節約していく社会のことを言います。

**阻害率**  
(そがいりつ)  
橋脚や堰など、川の中には水の流れを阻害する構造物があります。これらの合計と川幅との比を阻害率と言います。

## た

**ダイオキシン類**  
(ダイオキシンるい)  
ダイオキシン類とは、ポリ塩化ジベンゾパラジオキシン(PCDD)、ポリ塩化ジベンゾフラン(PCDF)、コプラナーPCB(CO-PCB)からなる三種類の化合物群の総称で、その多くはゴミなどを燃焼する課程で発生します。毒性が強く脾臓の萎縮、肝臓障害などのほか、内分泌攪乱化学物質として強い生殖障害を起こすことが知られています。

**第三種側帯**  
(だいさんしゅそくたい)  
第三種側帯は従来堤防の上に行われてきた植樹を治水上の配慮から計画堤防外の堤脚部で行おうとするもので、良好な河川環境を整備・保全するため必要な堤防部分です。

## 第二種側帯

(だいにしゅそくたい)

第二種側帯とは、非常用の土砂などを備蓄するために、堤防の裏側(堤内地側)に土砂を積み上げた部分のことです。

## 大臣指定区間

(だいじんしていくかん)

大臣指定区間について、河川の管理は一級河川については、国土交通大臣(河川法第9条第1項)、二級河川については都道府県知事(同法第10条)が行います。但し一級河川の管理については、国土交通大臣は一定区間を定め、「指定区域」(大臣が指定)として、都道府県知事にその管理の一部を行わせることができます。これを「大臣指定区間」と呼んでいます。

## 高潮対策

(たかしおたいさく)

高潮対策とは、台風または暴風雨などによる気圧の低下によって起こる海面の上昇(高潮や津波など)による災害を防止するための対策を言います。多摩川では、河口部の六郷橋から下流の区間が対象となります。

## 多自然型川づくり

(たしぜんがたかわづくり)

多自然型川づくりとは、地水上の安全性を確保した上で、草花や緑にあふれ、鳥や昆虫などさまざまな生き物を育む、多様で豊かな自然環境を保全、創出し、再生することを目指す川づくりのことです。例えば、魚類の生息に重要な瀬と淵の創出、木や石を用いた空隙のある多様な水辺環境の創出、護岸表面の覆土等による緑化などです。

## 多摩川水系水面利用計画

(たまがわすいけいすいめんりょうけいかく)

多摩川水系水面利用計画とは、多摩川本川の河口部から調布取水堰及び海老取水堰までを対象として、良好な自然環境を保全しつつ、秩序ある河川水面の利用を促進していくため、水面利用に係る基本事項、水面利用配置計画、航行マナー、水辺整備計画等を内容として、平成4年6月に建設省関東地方建設局(現・国土交通省関東地方整備局)、東京都、神奈川県が「多摩川水系水面利用協議会」の提言を受け、策定したものです。(平成13年3月には河川環境管理計画に位置づけられ河川整備計画の法案計画にも位置づけられました。)

## 多摩川水系利水関係者連絡会

(たまがわすいけいりすいかんけいしゃれんらくかい)

この連絡会は、河川管理者及び利水者との間において、きめ細やかな低水管理、円滑な湧水調整を行うため、関係機関(国土交通省、東京都、川崎市、水利用企業など)が情報交換をするため、平成9年5月28日に設置された組織です。

## 多摩川水難事故防止協議会

(たまがわすいなんじこぼうしきょうぎかい)

多摩川を利用する人々の増加に伴い、釣り人、水面利用者等による水難事故が増加しています。また、多数の野外生活者の水難事故も懸念されているため、国土交通省、河川利用者としての各自治体、橋梁管理者、警察、消防等が連携を図り、多摩川下流部の水難事故を未然に防ぐことを目的に、日本で初めて設立された協議会です。

## 多摩川流域懇談会

(たまがわりゅういきこんだんかい)

多摩川流域懇談会は、多摩川にかかわる市民(団体)、企業、学識経験者、流域自治体、河川管理者などが、多摩川の川づくりや流域環境について、継続的に情報や意見の交換を行い、お互いの協力関係を築き、信頼関係を深めつつ、<いい川>や<いいまち>の現実に向けて緩やかな合意形成を図ることを目的として平成10年12月に設立しました。今回の河川整備計画づくりに関わる活動も出発点としての一つの活動です。整備計画がつくられたあとも、さまざまな課題に取り組んでいきます。

## 堤外地

(ていがいち)

堤外地とは、堤防より川側の地域のことを言います。いわゆる河川敷や水の流れる部分のことです。

## 低水護岸

(ていすいごが ん)

低水護岸とは、流水や雨、あるいは波の作用によって高水敷が侵食されないよう、河岸にコンクリートブロックや自然石を張ったものを言います。

## 低水護岸天端

(ていすいごが んてんぱ)

低水護岸天端とは、洪水から河川敷河岸を保護するための工作物である低水護岸の上面、または最上部にあたる部分のことを言います。

## T.P,A.P

(ティーピー,エーピー)

T.Pとは、Tokyo Peilの略で、地表や海面の高さを表す基準水準面である東京湾中等潮位のことです。日本の水準点の原点でもあります。A.PとはArakawa Peilの略で、地方で特別に設けられた基準面を言い、多摩川では、計画に関する高さの基準として採用しています。東京湾中等潮位(T.P)との関係は次式のとおりです。
$$A.P = T.P + 1.134m$$

## 伝統的河川工法

(でんとうてきかせんこうほう)

伝統的河川工法とは、現在のようにコンクリート素材の使用や機械化施工ができなかった時代に行われてきた河川工法を総称して呼んでいます。素材は地場の木(材)や竹、石などに求め、施工は人力に頼っていました。施工と自然素材が景観面にも自然環境面にも周囲の自然の現状に溶け込む工法です。

動植物の生息又は生息地として、特に保全する必要があると認めて河川管理者が指定した河川区域内の土地の区域

河川法29条及び同施行令第16条により、河川区域内の動植物の生息地または生育地を保全するため、自動車やその他河川管理者が指定したものが乗り入れることを禁止することができるように定められています。この禁止区域のことを言います。

## 床止め・床固

(とこどめ・とこがため)

床止めとは、河床の洗掘を防いで河川の勾配を安定させるために、河川を横断して設けられる施設です。床固ということもありますが、機能は同じです。

## 土丹

(どたん)

土丹とは、新第三紀のシルト岩・泥岩、一部は第四紀更新世の半固結シルト・粘土で、一般的に褐色ないし淡褐色を帯びています。多

摩川の上中流域及び浅川の土丹は、上総層群に相当し、多摩川の八高線鉄橋周辺や浅川の浅川橋周辺などで露出しています。

な

## 内分泌攪乱化学物質

(ないぶんびつ  
かくらんかがく  
ぶっしつ)

内分泌攪乱科学物質とは、環境ホルモンとも呼ばれ、環境中に存在し、生体内でホルモンに似た働きを行って内分泌系（ホルモンを分泌する器官）を攪乱する化学物質の総称です。貝類や魚類のメス化現象、哺乳類の生殖器異常などの異常現象が報告されていますが、これらは、内分泌攪乱化学物質が要因であると考えられています。

## 法尻

(のりじり)

法尻とは、堤防の方面が地盤に移行する部分のことを言います。

は

## ハザードマップ

ハザードマップとは、災害における被害を最小限に食い止めることを目的として予想される災害の程度や対応方法等を図面等に表示するとともに、浸水情報、避難情報等の各種情報を分かりやすく図面等に表示したものを指します。

## 氾濫原

(はんらんげん)

氾濫原とは、洪水時に氾濫水に覆われる川の両岸の比較的平坦で低い土地のことを言います。多摩川は地形上、武蔵野台地と多摩丘陵に挟まれた低地を流れており、中流部の氾濫原は狭小であると言えます。

## BOD

(ビーオーディー  
ー)

BODとは、水中の好気性微生物の増殖や呼吸によって消費される酸素量のことです。水の有機物汚染が大きければその有機物を栄養分とする微生物の活動も活発になり、微生物によって消費される酸素の量も増加します。従って、BODが大きければ水中の有機物汚染が大きいことを示すため、水の有機物汚染の指標とされています。

## 特定非営利法人(NPO)

(とくていひえ  
いりほうじん  
エヌピーオー)

政府や私企業とは独立した存在として、市民・民間の支援のもとで社会的な公益活動を行う組織・団体のことを言います。

## 干潟

(ひがた)

干潟とは主に河口域にあり、潮汐の影響により干出と水没を繰り返します。ここには、川と海からのさまざまな栄養物質が推積し、多くの微生物や底生動物が生息し、それを餌とする渡り鳥も数多く飛来します。これら微生物が有機汚濁を分解するなど、干潟の水質浄

化機能も注目されています。

## 樋管 樋門

(ひかん・ひもん)

樋管・樋門とは、用水流入や内水排除のため堤防を貫通して設置される暗渠です。樋門と樋管との区別については明確な区別はありません。取水のためのものを用水樋管・内水排除のためのものを排水樋管と言います。

## 防災救命技術

(ぼうさいきゅうめいぎじゅつ)

防災救命技術とは、今後、開発が見込まれる新防災技術や既存の災害時の救助技術や被災時の救命技術等を示します。

## 防災情報提供システム

(ぼうさいじょうほうていきょうシステム)

防災情報提供システムとは、住民が災害状況を把握するのに役立つ情報や平常時から災害に関する情報の理解に役立つ情報等を提供するシステムです。

## ま

## 水資源有効活用型社会

(みずしげんゆうこうかつようがたしゃかい)

水資源有効活用型社会とは、農業用水、水道用水、工業用水等各種用水の必要量の変化や水環境のための新たな要望などを踏まえ、地域の意向や現代の社会状況に対応した合理的な水利秩序を形成し、水資源の有効利用を図る社会のことを言います。

## 水循環系

(みずじゅんかんけい)

水循環系とは、地表、海面から蒸発した水蒸気が、雨となって、地表に降り、一部は地下水となって、川を流れて海に至るという循環を繰り返す、この循環の経路を言います。

## 水辺再発見プロジェクト

(みずべさいはっけんプロジェクト)

水辺再発見プロジェクトとは、「多摩川流域リバーミュージアム」のソフト的な対策の一環として構築されているプロジェクトです。子供から高齢者まで多くの人々が多摩川の水辺に直接ふれ、楽しむための情報や活動プログラムの提供、現地の案内や指導者の登録と派遣、イベント開催、安全対策などの支援を行います。水辺再発見プロジェクトには、子供の主対象としたもの(水辺の楽校を含む)や、高齢者を主対象にしたものなどがあります。

## 面源負荷状態

(めんげんふかじょうたい)

面源汚濁負荷とは、田畑、山林、市街地等の面的に広がった汚濁源から発生する汚濁負荷のことで、河川の汚れの原因となります。面源汚濁負荷量は、晴天時には地下浸透、農業用水等によってのみ流出しますが降雨時には表面流出が起こるため多くの量が流出します。

## や

### ユニバーサルデザイン

ユニバーサルデザインは、敷地や施設の計画・設計をする際、高齢者、障害者、妊婦、子供等を含んだ全ての人が理解、利用等のしやすいデザインにする考え方のことです。

## ら

### ランドスケープ

ランドスケープとは景観のことを言います。河川景観においては、山、水面、植生などの自然物と、それに人為的な作用を受けた土地及び建物や土木構造物から構成されます。

### 陸閘

(りっこう)

陸閘とは、やむを得ない理由で、堤防が連続していない場合、あくまでも暫定的な措置として、洪水や高潮時に堤防の機能を確保するために締め切ることのできる施設をいい、容易に閉塞できる構造となっています。

### リバーバイオコリド

リバーバイオコリドとは、人工系空間において、連続した樹木群や草地をグラウンドとグラウンドの間等に配置した空間を言います。樹木群内部の気温上昇の緩和などの効果があり、生物の生息環境や移動経路を形成し、ランドマークとしての効果も期待されます。

### 流出抑制対策

(りゅうしゅつよくせいたいさく)

流出抑制対策とは、雨水が河川や下水道に直接的に流出しないようにするための対策で調整池などがあります。この対策により、洪水時の下流河川の負担が軽減されます。

### 礫間接触酸化法

(れきかんせつしよくさんかほう)

礫間接触酸化法とは、礫の表面に付着する微生物を利用した河川直接浄化のことを言います。礫を敷き詰めた水路に汚れた水をゆっくりと通すと、汚濁物が礫の間に沈殿するとともに微生物が有機物を分解、吸収します。非常に汚れた水では、空気を送りこんで微生物のはたらきを高める「ばっき付き礫間接触酸化法」とすることもあります。

## わ

### ワンド

河川敷にできた池状の入り江のことで、本川から離れた溜まりも含めて言います。希少な魚をはじめ、種々の生物が共存する豊かな環境であることが認識され、その価値が評価されています。

## 紹介 平成 16 年度子ども作品集 みんなの多摩川

国土交通省京浜河川事務所から「平成 16 年度子ども作品集 みんなの多摩川」が発行されました。

子どもの作品をカラーで紹介したページを中心に構成された多摩川環境学習事例集で、子どもの生き生きとした活動が手に取るように伝わってきます。

平成 15 年 3 月に同じく京浜河川事務所から発行された環境学習事例集「多摩川と環境学習」は多くの先生方から歓迎されましたが、その継続発行を求める声が多く、また、子どもの作品を発表したいという学校の要望も多かったことから、今回の作品集が生まれました。

今回子ども作品集には次の 5 校の学習が紹介されています。

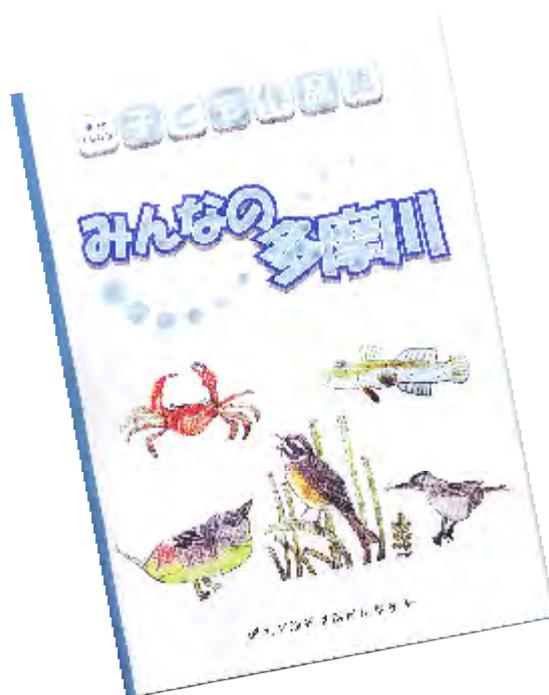
三鷹市立羽沢小学校（野川ワールド～only HANEZAWA）

明星小学校（くぬぎの時間 多摩川は生きている）

狛江市立和泉小学校（わたしたちの多摩川）

稲城市立稲城第六小学校（多摩川学習）

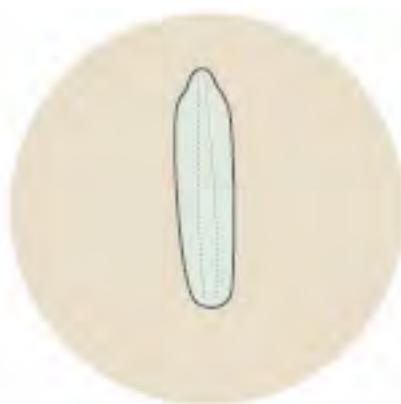
日野市立南平小学校（マイプロジェクト 学校をよくしよう）



# あしがき

この多摩川学習プログラム集は多摩川において、環境学習の促進に資するために、多摩川流域の全ての小学校、中学校を対象に作成しました。この多摩川学習プログラム集が各学校の学習活動で有効に活用されることを期待しています。なお、不備な点や修正を要する点についてご意見や提案をいただければよりよいものに改良していきたいと思っています。

この多摩川学習プログラム集の活用を通じて教育委員会、学校、市民、河川管理者等の協働により多摩川における環境学習が促進し、多摩川に対する理解と認識が深まれば幸いです。



多摩川学習プログラム集 第7分冊多摩川の基礎知識 多摩川情報集の作成・編集にご協力をいただいた先生（順不同、敬称略）

多摩川環境学習懇談会ワーキングメンバー  
日野市立南平小学校教諭 千葉晋一（座長）、狛江市立和泉小学校教諭 小島美津子、  
稲城市立稲城第六小学校教諭 中村将裕、三鷹市立羽沢小学校教諭 松川裕代

多摩川学習プログラム集作成に当たってご意見や資料をいただいた学校、個人  
（敬称略、順不同）

あきる野市立屋城小学校、あきる野市立前田小学校、あきる野市立草花小学校、稲城市立向陽台小学校、羽村市立羽村東小学校、羽村市立羽村東小学校、羽村市立富士見小学校、奥多摩町立古里小学校、桐朋学園小学校、国分寺市立第九小学校、狛江市立和泉小学校、小金井市立小金井第一小学校、小金井市立前原小学校、小金井市立前原小学校、小菅村立小菅小学校、小平市立小平第三小学校、小平市立小平第七小学校、昭島市立成隣小学校、昭島市立中神小学校、昭和女子大学附属昭和小学校、世田谷区立弦巻小学校、世田谷区立桜小学校、世田谷区立瀬田小学校、聖徳学園小学校、青梅市立河辺小学校、川崎市立下河原小学校、川崎市立下小田中小学校、川崎市立橋小学校、川崎市立久本小学校、川崎市立金程小学校、川崎市立幸町小学校、川崎市立四谷小学校、川崎市立上丸子小学校、川崎市立新城小学校、川崎市立菅小学校、川崎市立生田小学校、川崎市立西菅小学校、川崎市立千代ヶ丘小学校、川崎市立大師小学校、川崎市立東桜本小学校、川崎市立藤崎小学校、川崎市立南菅小学校、川崎市立南野川小学校、川崎市立夢見ヶ崎小学校、多摩市立連光寺小学校、大田区立女塚小学校、大田区立多摩川小学校、大田区立東蒲小学校、大田区立南六郷小学校、大田区立入新井第五小学校、大田区立馬込小学校、大田区立北糶谷小学校、大田区立矢口小学校、大田区立矢口東小学校、大田区立額町小学校、調布市立若葉小学校、調布市立多摩川小学校、日野市立潤徳小学校、日野市立滝合小学校、日野市立南平小学校、八王子市立横山第二小学校、八王子市立小宮小学校、八王子市立第八小学校、八王子市立榎原小学校、八王子市立別所小学校、府中市立四谷小学校、府中市立南白糸台小学校、武蔵村山市立第九小学校、武蔵村山市立第七小学校、武蔵野東小学校、福生市立福生第七小学校、明星小学校、立川市立立川第九小学校、和光小学校、あきる野市立御堂中学校、カリタス女子中学高等学校、羽村市立羽村第二中学校、奥多摩町立氷川中学校、恵泉女学園中学・高等学校、国土館中学校、国分寺市立第四中学校、国立音楽大学附属中学校、国立市立国立第三中学校、狛江市立狛江第三中学校、三鷹市立第三中学校、小金井市立小金井第一中学校、小金井市立東中学校、小金井市立武蔵野東中学校、小平市立上水中学校、世田谷区立芦花中学校、世田谷区立烏山中学校、世田谷区立喜多見中学校、世田谷区立砧中学校、世田谷区立砧南中学校、世田谷区立松沢中学校、世田谷区立深沢中学校、世田谷区立船橋中学校、世田谷区立祖師谷中学校、世田谷区立用賀中学校、聖徳学園中学高等学校、青梅市立泉中学校、川崎市立柿生中学校、川崎市立宮前平中学校、川崎市立金程中学校、川崎市立西高津中学校、川崎市立中野島中学校、川崎市立南加瀬中学校、川崎市立南河原中学校、川崎市立南菅中学校、川崎市立南生田中学校、川崎市立南大師中学校、川崎市立日吉中学校、多摩市立諏訪中学校、多摩市立多摩中学校、大田区立馬込東中学校、丹波山村立丹波中学校、調布市立第六中学校、日本女子大学附属中学校、八王子市立綾南中学校、八王子市立加住中学校、八王子市立石川中学校、八王子市立第一中学校、八王子市立第三中学校、八王子市立第二中学校、八王子市立鎌水中学校、八王子実践中学・高等学校、府中市立浅間中学校、府中市立第六中学校、府中市立府中第五中学校、府中市立府中第二中学校、武蔵工業大学附属中学校、武蔵村山市立第三中学校、武蔵野市立第六中学校、立川第七中学校、横山 十四男、鈴木 眞智子、倉持 武彦、小野 紀之、榎本 正邦、君塚 芳輝、竹本 久志、中村 文明、長谷川 博之

ご協力いただいた学校、個人の方々にお礼申し上げます。

**わくわくときどき 多摩川学習プログラム集**

**第7分冊 多摩川の基礎知識 多摩川情報集**

平成 17 年 10 月刷

編集 発行 国土交通省 関東地方整備局 京浜河川事務所

連絡先 〒230-0051

神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央 2-18-1

京浜河川事務所 河川環境課 電話 045-503-4011 ファックス 045-503-4010

編集協力 (株) レック研究所

